

好きです!

南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力



収穫に感謝

5年生「おむすびの会」

12月6日（金）に、5年生は収穫したお米を炊いておむすびをつくり、2個を一袋に詰め120セットを用意しました。稲作体験学習でお世話になった地域の方々や授業参観で来校した保護者のみなさんにお渡しして感謝の気持ちとおいしいおむすびを味わっていただくことができました。

また、「おむすびの会」を開催し、家庭科の調理実習で学習したおむすびと味噌汁を作りました。この会に招待したお米先生の福山さんや相谷区の稲作を教えていただいた方々、協力してくださった婦人会のみなさんに、できたてのおむすびと味噌汁を食べていただき感謝の気持ちを伝えました。食やお世話になった方々への感謝を表すために、一生懸命に取り組む子供達の姿はとても素晴らしかったです。



6年生 南関あげ巻き寿司づくり

12月20日（金）に、6年生は「南関町マスターになろう」という郷土学習で南関名物の南関あげ巻き寿司づくりを、総合的な学習の時間と家庭科の教科横断的な学習として実施しました。油抜きをした南関あげをはじめ、椎茸や卵などの具材まで25本分子供達のために提供していただきました。お米は地域の協力で5年生が稲刈りしたお米を使用しました。大変ありがとうございました。当日は婦人会から5人の方のゲスト指導を受けてとても美味しい南関あげ巻きをいただくことができました。できあがった南関あげ巻き寿司は、5年生を始め下級生にもお裾分けして、「収穫」を軸として各学年がつながりました。食べ物のありがたさや支援への感謝、温かさを感じ、ウェルビーイングの向上につながりました。

2025年スタートして3週間

1月8日（水）、後期前半始めの会を迎えました。1月の持久走大会や2月の学習発表会、新1年生の体験入学など、南関三小っ子が活躍する取組がたくさんあります。

始めの会では、自分や同じ学年、南関三小のみんなが幸せになる（ウェルビーイングを向上する）ために、学校教育目標「やさしく・しっかりかんがえ・たくましい『南関三小っ子』の育成」の中の、やさしい気持ちやさしい言葉を大切にしようと話をしました。南関町にルーツがある北原白秋さんの思いが詰まった「ひとつのことば」を紹介しました。それから、本校支援員の本原友希先生が、「ひとつのことば」に言葉を追加し作曲された曲を全校児童に紹介しました。しみり言葉が心にしみ、メロディーが素晴らしく歌いたくなるすてきな曲です。この歌を、2月14日の学習発表会で全校合唱します。体育館の会場にいるみなさんで、楽しく笑顔で歌いたいと考えています。

学校ホームページをご覧ください

カードのQRコードから、学校の様子をホームページでご覧ください。

